



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL http://www.intrance.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)麻生 正紀
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部部長 (氏名)濱谷 雄二 (TEL)03(6803)8100
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	200	△90.2	△44	—	△52	—	△33	—
29年3月期第1四半期	2,047	174.4	659	20.9	638	19.3	440	14.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △33百万円(—%) 29年3月期第1四半期 440百万円(14.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△0.89	—
29年3月期第1四半期	11.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,291	2,997	41.1
29年3月期	7,247	3,104	42.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,997百万円 29年3月期 3,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	△8.9	470	△17.5	350	△23.9	230	△19.2	6.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	37,131,000株	29年3月期	37,131,000株
30年3月期1Q	60,400株	29年3月期	60,400株
30年3月期1Q	37,070,600株	29年3月期1Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続する中で個人消費も底堅く推移し、緩やかな回復基調が続いています。一方、海外ではイギリスのEU離脱問題やアメリカの新政権による政策運営が国際金融市場に及ぼす影響に加え、中国をはじめとするアジア新興国の経済動向など、日本経済への影響が懸念されており、景気動向は依然として不透明感な状況となっております。

当社グループの属する不動産市場におきましては、上場企業やJ-REIT等が2016年度(2016年4月～2017年3月)に公表した国内不動産の取引額は4兆1,082億円(民間企業調べ)となりました。これは、J-REITによる取得が堅調に推移したことに加え、国内不動産事業者や外資系法人による大型・高額物件の取引が相次いだことが寄与しており、国内外の投資家による不動産投資需要は引き続き良好な状態が続くと見られております。

このような状況下、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたうえで販売を行うプリンシパルインベストメント事業、プロパティマネジメントサービス(物件ごとのニーズに合ったオーダーメイド型の入居者管理代行サービス)、及び賃貸事業や不動産賃貸・売買の仲介業務を行うソリューション事業、並びに当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン(以下、大多喜ハーブガーデン)にて、ハーブガーデンの運営を行うその他事業にそれぞれ注力してまいりました。

しかしながら、当社が保有する販売用不動産につきまして、当第1四半期連結累計期間での売却に至らなかったことから、売上高は200,059千円(前年同四半期比90.2%減)、営業損失は44,265千円(前年同四半期は営業利益659,734千円)、経常損失は52,030千円(前年同四半期は経常利益638,537千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は33,066千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益440,868千円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業につきましては、保有物件の積極的な販売活動に取り組んでまいりましたが、売却予定先の購入希望時期及び購入資金調達の遅れ等により売上を計上するには至りませんでした。

この結果、売上高は一千円(前年同四半期の売上高は1,871,404千円)、セグメント損失(営業損失)は19,352千円(前年同四半期は741,852千円の営業利益)となりました。

(ソリューション事業)

安定的な収益を生み出すソリューション事業につきましては、賃貸事業において蓮田ショッピングセンターの賃料収入及び和歌山マリーナシティ内3施設の配当金収入が大きく貢献しました。

この結果、売上高は146,807千円(前年同四半期比15.8%増)、セグメント利益(営業利益)は59,809千円(前年同四半期比22.6%増)となりました。

(その他)

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンは今春、房総エリアにおける観光スポットとして様々なメディア媒体に取り上げられたことから注目度が大変高まるとともに、販路拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は53,251千円(前年同四半期比8.2%増)、セグメント利益(営業利益)は10,867千円(前年同四半期は1,212千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ407,007千円増加し6,620,608千円となりました。これは主として、現金及び預金が411,241千円増加したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ363,004千円減少し670,853千円となりました。これは主として、投資その他の資産が361,018千円減少したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ44,003千円増加し7,291,462千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ476,721千円増加し1,908,933千円となりました。これは主として、短期借入金の増加85,000千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加299,850千円があったこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ325,510千円減少し2,385,254千円となりました。これは主として、長期借入金の減少が316,875千円あったこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ151,210千円増加し4,294,188千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ107,207千円減少し、2,997,273千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,215,137	1,626,379
売掛金	68,197	74,486
営業投資有価証券	123,779	—
営業出資金	400,000	400,000
販売用不動産	4,068,156	4,138,160
その他のたな卸資産	13,709	14,461
その他	324,620	367,119
流動資産合計	6,213,600	6,620,608
固定資産		
有形固定資産	31,782	29,796
無形固定資産		
契約関連無形資産	609,383	609,383
その他	128	128
無形固定資産合計	609,511	609,511
投資その他の資産	392,563	31,545
固定資産合計	1,033,858	670,853
資産合計	7,247,459	7,291,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,036	13,199
短期借入金	55,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	793,050	1,092,900
未払法人税等	56,857	11,387
賞与引当金	7,157	3,772
その他	514,110	647,673
流動負債合計	1,432,212	1,908,933
固定負債		
長期借入金	2,700,625	2,383,750
その他	10,140	1,504
固定負債合計	2,710,765	2,385,254
負債合計	4,142,977	4,294,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	1,070,547	963,340
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	3,104,481	2,997,273
純資産合計	3,104,481	2,997,273
負債純資産合計	7,247,459	7,291,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,047,367	200,059
売上原価	1,160,121	91,865
売上総利益	887,245	108,194
販売費及び一般管理費	227,511	152,459
営業利益又は営業損失(△)	659,734	△44,265
営業外収益		
受取利息	0	4,523
持分法による投資利益	—	2,364
その他	27	35
営業外収益合計	28	6,923
営業外費用		
支払利息	9,170	14,668
資金調達費用	10,186	20
持分法による投資損失	1,838	—
その他	29	—
営業外費用合計	21,224	14,688
経常利益又は経常損失(△)	638,537	△52,030
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	638,537	△52,030
法人税等	197,669	△18,964
四半期純利益又は四半期純損失(△)	440,868	△33,066
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	440,868	△33,066

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	440,868	△33,066
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	440,868	△33,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,868	△33,066
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,871,404	126,735	1,998,139	49,227	—	2,047,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	4,786	△4,786	—
計	1,871,404	126,735	1,998,139	54,014	△4,786	2,047,367
セグメント利益又は損 失(△)	741,852	48,796	790,648	△1,212	△129,702	659,734

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△129,702千円には、セグメント間取引消去△4,786千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△124,915千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	—	146,807	146,807	53,251	—	200,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	9,110	△9,110	—
計	—	146,807	146,807	62,362	△9,110	200,059
セグメント利益又は損 失(△)	△19,352	59,809	40,457	10,867	△95,590	△44,265

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△95,590千円には、セグメント間取引消去△9,110千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△86,480千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。